

バイオディーゼル燃料の基礎、応用および開発動向

講師：高津淑人氏

東京都市大学 理工学部 応用化学科 教授

2015年に開催された国連気候変動枠組条約締結国会議(COP)の合意事項に基づく「パリ協定」は、世界の平均気温上昇を産業革命以前と比べて2℃以内に抑えるため(努力目標:1.5℃以内)、21世紀後半までに温室効果ガスの排出量と吸収量をバランスさせる「カーボンニュートラル」の達成を目標に掲げました。また、国連気候変動に関する政府間パネル(IPCC)は産業革命以降の気温上昇を1.5℃以内にとどめるには2050年あたりまでにカーボンニュートラルを達成すべきと報告しています。これらを受けて、2021年1月20日までに日本を含む世界124か国がカーボンニュートラルの達成を表明しています。カーボンニュートラルへ挑むことは、環境と成長の好循環を生み出すグリーンイノベーションを導くとの期待も拡がっています。

このような国際情勢のもと、日本政府(経済産業省)はカーボンニュートラルを達成するための様々な技術課題を定めており、運輸部門が使用する石油系燃料を植物由来の合成燃料で置き換えることが課題の1つに挙がっています。本講演では、植物由来の合成燃料である「バイオディーゼル燃料」に関する学術的な基礎知識、実用するための応用知識、および技術(研究)開発動向を説明・紹介します。本講演で知りえたことが新たな事業の芽生えにつながると幸いです。

【講師略歴】1990年3月 神戸大学工学部化学工学科 卒業、1992年3月 神戸大学大学院工学研究科化学工学専攻 修士課程修了、1992年4月 住友金属工業株式会社 採用、2000年12月 北海道大学大学院工学研究科分子化学専攻 学位取得、2001年4月 独立行政法人産業技術総合研究所 採用(博士研究員)、2004年4月 株式会社けいはんな 採用(主任研究員)、2009年1月 同志社大学研究開発機構 採用(特任准教授)、2013年4月 東京都市大学工学部エネルギー化学科 採用(准教授)・・・現在に至る(現在の所属先名称:理工学部応用化学科)

【所属学会】化学工学会、日本エネルギー学会、触媒学会、石油学科、粉体工学会

【研究歴】1992~2000 石炭を液化する触媒プロセスの研究、2001~2003 サルファフリーを達成する石油精製触媒の研究、2004~ バイオディーゼル燃料製造の触媒プロセスの研究

【著書】グリーンバイオケミストリーの最前線(シーエムシー出版、2010年) 他8件(いずれも分担執筆)

開催日時	2023年6月22日(木) 13:30~16:30	<p>※本セミナーは、当日ビデオ会議ツール「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。推奨環境は当該ツールをご参照ください。後日、視聴用のURLを別途メールにてご連絡いたします。</p> <p>詳細は裏面をご覧ください。</p> <p>★受講中の録音・撮影等は固くお断りいたします。</p>
受講料	44,000円(税込) ※資料付 *メルマガ登録者 39,600円(税込) *アカデミック価格 26,400円(税込)	

*アカデミック価格:学校教育法にて規定された国、地方公共団体、および学校法人格を有する大学、大学院の教員、学生に限ります。

★**【メルマガ会員特典】**2名以上同時申込かつ申込者全員メルマガ会員登録をいただいた場合、**1名あたりの参加費がメルマガ会員価格の半額**となります。★**【セミナー対象者】**バイオディーゼルへ興味を抱く企業さま、団体さま(技術開発、製造、利用、ライセンス導入、投資、CSRなどで)★**【セミナーで得られる知識】**・実用されているバイオディーゼル燃料の製造、利用に関する知識・実用が期待される新しいバイオディーゼル燃料の製造に関する知識

【本ウェビナーのプログラム】

※適宜休憩が入ります。

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 講師自己紹介(研究歴の説明) カーボンニュートラルへの挑戦 <ol style="list-style-type: none"> 温室効果ガス蓄積の将来予想 達成に向けた科学技術面の課題 実用的なバイオディーゼル燃料(脂肪酸エステル) <ol style="list-style-type: none"> 原料と製法 求められる品質 | <ol style="list-style-type: none"> 3.3 実用のための注意事項 3.4 普及動向 4. 実用が期待されるバイオディーゼル燃料(炭化水素) <ol style="list-style-type: none"> 4.1 実証レベルの新たな製法 4.2 ラボレベルの新たな製法 5. 総括と質疑応答 |
|--|---|

弊社記入欄	ウェビナー申込書		
セミナー名	バイオディーゼル燃料の基礎、応用および開発動向		
所定の事項にご記入下さい	会社名(団体名)	TEL:	
メルマガ会員、登録希望の場合は○↓	住所〒	FAX:	
		E-mail:	
会員登録済み	新規登録希望	部署	役職
		氏名	
お支払方法	銀行振込 ・ その他	お支払予定	2023年 月 日頃

- 申込方法:セミナー申込書にご記入の上FAX、E-mail(re@cmcre.com)でお申し込みください。
 ■セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりません。ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。
 ■申込先:㈱シーエムシー・リサーチ 東京都千代田区神田錦町2-7 TEL03-3293-7053
 ■本セミナーの関連情報は、弊社HPでもご覧いただけます。⇒ <https://cmcre.com/>

参加申込 FAX 番号
03-3291-5789

講師:高津淑人氏

東京都市大学工学部応用化学科 教授

当該セミナーは、ライブ配信のウェビナー（オンラインセミナー）です！

【ライブ配信対応セミナー】

- ・本セミナーはビデオ会議ツール「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。お申し込み前に、下記 URL より視聴環境をご確認ください。
→ <https://zoom.us/test>
- ・当日はリアルタイムで講師へのご質問も可能です。
- ・タブレットやスマートフォンでも視聴できます。
- ・お手元の PC 等にカメラ、マイク等がなくてもご視聴いただけます。この場合、音声での質問はできませんが、チャット機能、Q&A 機能はご利用いただけます。
- ・ただし、セミナー中の質問形式や講師との個別のやり取りは講師の判断によります。ご了承ください。
- ・「Zoom」についてはこちら↓をご参照ください。
<https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>

【お申込み後の流れ】

- ・開催前日までに、ウェビナー事前登録用のメールをお送りいたします。お手数ですがお名前とメールアドレスのご登録をお願いいたします。
- ・事前登録完了後、ウェビナー参加用 URL をお送りいたします。
- ・セミナー開催日時に、参加用 URL よりログインいただき、ご視聴ください。
- ・講師に了解を得た場合には資料を PDF で配布いたしますが、参加者のみのご利用に限定いたします。他の方への転送、WEB への掲載などは固く禁じます。
- ・資料を冊子で配布する場合は、事前にご登録のご住所に発送いたします。開催日時に間に合わない場合には、後日お送りするなどの方法で対応いたします。

【注意事項】

- ・本セミナーの受講にあたっての推奨環境は「Zoom」に依存します。受講者の方のお手元の PC などの設定や通信環境が受信の状況に大きく影響いたしますので、ご自分の環境が対応しているか、お申し込み前の確認をお勧めいたします。

[https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023-PC-](https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023-PC-MacLinux%E3%81%AE%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E8%A6%81%E4%BB%B6)

[MacLinux%E3%81%AE%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E8%A6%81%E4%BB%B6](https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023-PC-MacLinux%E3%81%AE%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E8%A6%81%E4%BB%B6)

- ・Zoom クライアントは最新版にアップデートして使用してください。
- ・インターネット経由でのライブ中継ですので、回線状態などにより、画像や音声 that 乱れる場合があります。また、状況によっては、講義を中断し、再接続して再開する場合がありますが、予めご了承ください。
- ・万が一、当社や講師側（開催側）のインターネット回線状況や設備機材の不具合により、開催を中止した場合には、受講料の返金や、状況により後日録画を提供すること等で対応させていただきます。
- ・本セミナーはお申し込みいただいた方のみ受講いただけます。
複数端末から同時に視聴することや複数人での視聴は禁止いたします。
- ・受講中の録音・撮影等は固く禁じます。
- ・Zoom のグループにパスワードを設定しています。お申込者以外の参加を防ぐため、パスワードを外部に漏洩しないでください。
万が一外部者が侵入した場合は管理者側で部外者の退出あるいはセミナーを終了いたします。